

## 付録－ 1

点検記録表

損傷写真台帳

点検業務総合評価表

措置対策記録表

## 1. 点検記録表

### 1. 1 点検結果記録表の種類

点検記録表は、点検の種別に応じたものを使用する。

通常点検                   : 通常点検記録表

初期点検, 定期点検 : 初期点検, 定期点検用点検記録表

初期点検, 定期点検用点検記録表については、附属物の標準形式毎に作成した。なお、リブ本数やアンカーボルト数が異なる場合、デザイン式の支柱が採用されている場合など本点検結果記録表によりがたい場合は、「付録-7 附属物標準形式と点検部位」を参考に、必要項目を各自修正・追加又は新規作成を行うこと。

<通常点検記録表>

整理番号	点検会社	管轄		局	
年月日	点検者	出張所	出張所		
年月日	点検者	出張所	出張所		
線名					
点検結果					
管理番号	附属物名	距離標	所在地	損傷内容	損傷状況
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
				揺れ・変形・その他	
点検結果確認者	氏名	氏名	氏名	備考	
点検結果に対する対応					

<初期点検, 定期点検用点検記録表>

照明 (逆L型)

(1)基本情報																			
附属物名	道路照明装置			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	ROO			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	逆L型			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量					台										
	センサス区間番号			大型車混入率					%										
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考		
				き裂		ゆるみ・ 脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	電気設備用 開口部本体	Hh	-																
	電気設備用 開口部ボルト部	Hb	01																
			02																
	支柱内部	Pi	-																
	支柱本体	Ph	-																
	支柱継手部	Pj	-																
	配線部分	Wi	-																
灯具及び 灯具取付部	Li	-																	
タイプ Ⅲ、Ⅳ	リブ・取付溶接部	Br	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅣ	ベースプレート 取付部	Bb	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅢ	アンカーボルト・ ナット	Ab	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	-																
タイプ Ⅱ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	-																
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	-																
	路面境界部	GL-40	-																
(7)次回点検の実施時期																			

照明 (Y型)

(1)基本情報																			
附属物名	道路照明装置					管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所												
路線名	R〇〇					所在地	〇〇市												
設置年月						距離標													
整理番号1						管理番号													
(2)構造情報																			
支柱形式	Y型					基礎形式													
灯具形式						路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他												
表面処理形式						支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無												
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し					合いマーク	有・今回実施・無・当該無し												
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要					柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し												
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他					海岸からの距離	km												
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない					風規制実施路線	該当する・該当しない												
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度					24時間交通量	台												
	センサス区間番号					大型車混入率	%												
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別						点検年月日													
点検員	会社名					氏名													
点検確認者						点検手段													
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の要否	備考		
				き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	電気設備用開口部本体	Hh	—	01															
	電気設備用開口部ボルト部	Hb		02															
	支柱内部	Pi	—																
	横梁分岐	Bj	—																
	支柱本体	Ph	—																
	支柱継手部	Pj	—																
	配線部分	Wi	—																
	灯具及び灯具取付部	Li		01															
				02															
タイプⅢ、Ⅳ	リブ・取付溶接部	Br		01															
				02															
				03															
				04															
	柱・ベースプレート溶接部	Bp	—																
タイプⅣ	ベースプレート取付部	Bb		01															
				02															
				03															
				04															
タイプⅢ	アンカーボルト・ナット	Ab		01															
				02															
				03															
				04															
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	—																
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	—																
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	—																
	路面境界部	GL-40	—																
(7)次回点検の実施時期																			

照明（直線型）

(1)基本情報																			
附属物名	道路照明装置			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	直線型			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リブ形状	三角リブ・リ字リブ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量			台												
	センサス区間番号			大型車混入率			%												
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備 考		
				き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	電気設備用 開口部本体	Hh	—	01															
	電気設備用 開口部ボルト部	Hb		02															
	支柱内部	Pi	—																
	支柱本体	Ph	—																
	支柱継手部	Pj	—																
	配線部分	Wi	—																
灯具及び 灯具取付部	Li	—																	
タイプ Ⅲ、Ⅳ	リブ・取付溶接部	Br	01																
			02																
			03																
			04																
柱・ベースプレート 溶接部	Bp	01																	
		02																	
タイプⅣ	ベースプレート 取付部	Bb	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅢ	アンカーボルト・ ナット	Ab	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	—																
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	—																
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	—																
	路面境界部	GL-40	—																
(7)次回点検の実施時期																			

照明（共架型）

(1)基本情報																			
附属物名	道路照明装置				管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所													
路線名	ROO				所在地	〇〇市													
設置年月					距離標														
整理番号1					管理番号														
(2)構造情報																			
支柱形式	共架型				基礎形式														
灯具形式					路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他													
表面処理形式					支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無													
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し				合いマーク	有・今回実施・無・当該無し													
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要				柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し													
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他				海岸からの距離	km													
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない				風規制実施路線	該当する・該当しない													
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度				24時間交通量				台										
	センサス区間番号				大型車混入率				%										
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別					点検年月日														
点検員	会社名				氏名														
点検確認者					点検手段														
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												備考			
				き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水			その他		対策の要否
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置		損傷	措置	
共通	電気設備用開口部本体	Hh	-																
	電気設備用開口部ボルト部	Hb	01																
			02																
	支柱内部	Pi	-																
	支柱本体	Ph	-																
	配線部分	Wi	-																
	灯具及び灯具取付部	Li	-																
バンド部	Bn	01																	
		02																	
(7)次回点検の実施時期																			

照明（トンネル照明）

(1)基本情報																			
附属物名	道路照明装置				管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所													
路線名	ROO				所在地	〇〇市													
設置年月					距離標														
整理番号1					管理番号														
(2)構造情報																			
支柱形式	トンネル照明				基礎形式														
灯具形式					路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他													
表面処理形式					支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無													
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し				合いマーク	有・今回実施・無・当該無し													
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要				柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し													
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他				海岸からの距離	km													
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない				風規制実施路線	該当する・該当しない													
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度				24時間交通量				台										
	センサス区間番号				大型車混入率				%										
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別					点検年月日														
点検員	会社名				氏名														
点検確認者					点検手段														
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												備考			
				き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水			その他		対策の要否
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置		損傷	措置	
共通	灯具及び灯具取付部	Li	01																
			02																
			03																
			04																
(7)次回点検の実施時期																			

標識 (F 型) 1/2

(1)基本情報																			
附属物名	道路標識			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	F型			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量		台													
	センサス区間番号			大型車混入率		%													
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備 考		
				き裂		ゆるみ・ 剥落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	横梁仕口溶接部	Bw	0101		-	-	-	-					-	-					
			0102		-	-	-	-					-	-					
			0103		-	-	-	-					-	-					
			0104		-	-	-	-					-	-					
			0105		-	-	-	-					-	-					
			0106		-	-	-	-					-	-					
			0107		-	-	-	-					-	-					
			0108		-	-	-	-					-	-					
	0201		-	-	-	-					-	-							
	0202		-	-	-	-					-	-							
	0203		-	-	-	-					-	-							
	0204		-	-	-	-					-	-							
	0205		-	-	-	-					-	-							
	0206		-	-	-	-					-	-							
	0207		-	-	-	-					-	-							
	0208		-	-	-	-					-	-							
共通	横梁取付部	Bi	0101										-	-					
			0102										-	-					
			0103										-	-					
			0104										-	-					
			0105										-	-					
			0106										-	-					
			0107										-	-					
			0108										-	-					
	0201										-	-							
	0202										-	-							
	0203										-	-							
	0204										-	-							
	0205										-	-							
	0206										-	-							
	0207										-	-							
	0208										-	-							



標識 (F型) 2/2

⑥目視点検結果																	
共通	支柱本体	Ph		-													
	横梁本体	Bh	01		-												
			02		-												
	標識板及び標識板取付部	Rs		-													
タイプⅢ、Ⅳ	リブ・取付溶接部	Br	01		-												
			02		-												
			03		-												
			04		-												
			05		-												
			06		-												
			07		-												
			08		-												
	柱・ベースプレート溶接部	Bp		-													
タイプⅣ	ベースプレート取付部	Bb	01														
			02														
			03														
			04														
			05														
			06														
			07														
			08														
タイプⅢ	アンカーボルト・ナット	Ab	01														
			02														
			03														
			04														
			05														
			06														
			07														
			08														
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb		-													
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc		-													
タイプⅠ	路面境界部	GL-0		-													
	路面境界部	GL-40		-													
⑦次回点検の実施時期																	

標識（逆L型） 1/2

(1)基本情報																			
附属物名	道路標識				管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所													
路線名	R〇〇				所在地	〇〇市													
設置年月					距離標														
整理番号1					管理番号														
(2)構造情報																			
支柱形式	逆L型				基礎形式														
灯具形式					路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他													
表面処理形式					支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無													
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し				合いマーク	有・今回実施・無・当該無し													
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要				柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し													
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他				海岸からの距離	km													
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない				風規制実施路線	該当する・該当しない													
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量			台												
	センサス区間番号			大型車混入率			%												
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別					点検年月日														
点検員	会社名			氏名															
点検確認者					点検手段														
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置										対策の 要否	備 考				
				き裂		ゆるみ・ 脱落		破断		腐食		変形・欠損				滞水		その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置	損傷	措置
共通	横梁仕口溶接部	Bw	0101			-	-	-	-					-	-				
			0102			-	-	-	-					-	-				
			0103			-	-	-	-					-	-				
			0104			-	-	-	-					-	-				
			0105			-	-	-	-					-	-				
			0106			-	-	-	-					-	-				
	横梁取付部	Bi	0101											-	-				
			0102											-	-				
			0103											-	-				
			0104											-	-				
			0105											-	-				
			0106											-	-				
共通	支柱本体	Ph	-			-	-	-	-					-	-				
	横梁本体	Bh	-			-	-	-	-					-	-				
	標識板及び標識板取付部	Rs	-											-	-				
支柱基部	タイプⅢ、Ⅳ リブ・取付溶接部	Br	01			-	-	-	-					-	-				
			02			-	-	-	-					-	-				
			03			-	-	-	-					-	-				
			04			-	-	-	-					-	-				
			05			-	-	-	-					-	-				
			06			-	-	-	-					-	-				
			07			-	-	-	-					-	-				
			08			-	-	-	-					-	-				
	柱・ベースプレート溶接部	Bp	-			-	-	-	-					-	-				

標識（逆L型） 2/2

⑥目視点検結果																		
タイプⅣ	ベースプレート 取付部	Bb	01													-	-	
			02														-	-
			03														-	-
			04														-	-
			05														-	-
			06														-	-
			07														-	-
			08														-	-
タイプⅢ	アンカーボルト・ ナット	Ab	01													-	-	
			02														-	-
			03														-	-
			04														-	-
			05														-	-
			06														-	-
			07														-	-
			08														-	-
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	-			-	-	-	-						-	-		
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	-			-	-	-	-						-	-		
	路面境界部	GL-40	-			-	-	-	-						-	-		
⑦次回点検の実施時期																		

標識 (T型) 1/3

(1)基本情報																			
附属物名	道路標識			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	T型			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リップ形状	三角リップ・U字リップ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量	台														
	センサス区間番号			大型車混入率	%														
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置										対策の 要否	備 考				
				き裂		ゆるみ・ 脱落		破断		腐食		変形・欠損				滞水		その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置	損傷	措置
共通	橋梁仕口溶接部	Bw	0101			-	-	-	-							-	-		
			0102			-	-	-	-							-	-		
			0103			-	-	-	-							-	-		
			0104			-	-	-	-							-	-		
			0105			-	-	-	-							-	-		
			0106			-	-	-	-							-	-		
			0107			-	-	-	-							-	-		
			0108			-	-	-	-							-	-		
			0201			-	-	-	-							-	-		
			0202			-	-	-	-							-	-		
			0203			-	-	-	-							-	-		
			0204			-	-	-	-							-	-		
			0205			-	-	-	-							-	-		
			0206			-	-	-	-							-	-		
			0207			-	-	-	-							-	-		
			0208			-	-	-	-							-	-		
			0301			-	-	-	-							-	-		
			0302			-	-	-	-							-	-		
			0303			-	-	-	-							-	-		
			0304			-	-	-	-							-	-		
0305			-	-	-	-							-	-					
0306			-	-	-	-							-	-					
0307			-	-	-	-							-	-					
0308			-	-	-	-							-	-					
0401			-	-	-	-							-	-					
0402			-	-	-	-							-	-					
0403			-	-	-	-							-	-					
0404			-	-	-	-							-	-					
0405			-	-	-	-							-	-					
0406			-	-	-	-							-	-					
0407			-	-	-	-							-	-					
0408			-	-	-	-							-	-					

標識 (T型) 2/3

(6)目視点検結果																
共通	横梁取付部	Bi	0101										-	-		
			0102											-	-	
			0103												-	-
			0104												-	-
			0105												-	-
			0106												-	-
			0107												-	-
			0108												-	-
			0201												-	-
			0202												-	-
			0203												-	-
			0204												-	-
			0205												-	-
			0206												-	-
			0207												-	-
			0208												-	-
			0301												-	-
			0302												-	-
			0303												-	-
			0304												-	-
			0305												-	-
			0306												-	-
			0307												-	-
			0308												-	-
			0401												-	-
			0402												-	-
			0403												-	-
			0404												-	-
			0405												-	-
			0406												-	-
			0407												-	-
			0408												-	-
共通	支柱本体	Ph	-										-	-		
	横梁本体	Bh	01			-	-	-	-					-	-	
			02			-	-	-	-					-	-	
			03			-	-	-	-					-	-	
			04			-	-	-	-					-	-	
	標識板及び標識板取付部	Rs	01											-	-	
			02											-	-	

標識 (T型) 3/3

(6) 目視点検結果																			
支柱基部	タイプⅢ、Ⅳ	リブ・取付溶接部	Br	01			-	-	-	-				-	-				
				02			-	-	-	-				-	-				
				03			-	-	-	-				-	-				
				04			-	-	-	-				-	-				
				05			-	-	-	-				-	-				
				06			-	-	-	-				-	-				
				07			-	-	-	-				-	-				
				08			-	-	-	-				-	-				
			柱・ベースプレート溶接部	Bp	-			-	-	-	-				-	-			
	タイプⅣ	ベースプレート取付部	Bb	01											-	-			
				02												-	-		
				03												-	-		
				04												-	-		
				05												-	-		
				06												-	-		
				07												-	-		
08															-	-			
タイプⅢ	アンカーボルト・ナット	Ab	01											-	-				
			02												-	-			
			03												-	-			
			04												-	-			
			05												-	-			
			06												-	-			
			07												-	-			
			08												-	-			
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	-			-	-	-	-				-	-					
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	-			-	-	-	-				-	-					
	路面境界部	GL-40	-			-	-	-	-				-	-					
(7) 次回点検の実施時期																			

標識（単柱式）

(1)基本情報																			
附属物名	道路標識			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	単柱式			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リップ形状	三角リップ・U字リップ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			支柱部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量					台										
	センサス区間番号			大型車混入率					%										
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考		
				き裂		ゆるみ・ 脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	支柱本体	Ph	-																
	標識板及び標識板取付部	Rs	-																
支柱基部	タイプⅢ、Ⅳ	リップ・取付溶接部	Br	01															
				02															
				03															
				04															
	タイプⅣ	ベースプレート取付部	Bp	-															
				01															
				02															
				03															
タイプⅢ	アンカーボルト・ナット	Ab	01																
			02																
			03																
			04																
タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	-																
タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc	-																
タイプⅠ	路面境界部	GL-0	-																
	路面境界部	GL-40	-																
(7)次回点検の実施時期																			

標識（複柱式） 1/2

(1)基本情報																			
附属物名	道路標識			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所														
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市														
設置年月				距離標															
整理番号1				管理番号															
(2)構造情報																			
支柱形式	複柱式			基礎形式															
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・主砂・露出・インターロッキング・その他														
表面処理形式				支柱基部リップ形状	三角リップ・U字リップ・その他・無														
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し														
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し														
(3)環境情報																			
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km														
(4)路線情報																			
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない														
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																		
交通条件	センサス年度			24時間交通量	台														
	センサス区間番号			大型車混入率	%														
(5)点検種別・点検年月日・点検員・点検確認者・点検手段																			
点検種別				点検年月日															
点検員	会社名			氏名															
点検確認者				点検手段															
(6)目視点検結果																			
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考		
				き裂		ゆるみ・ 脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水				その他	
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置
共通	支柱本体	Ph	01			-	-	-	-										
	標識板及び標識板取 付部	Rs	02			-	-	-	-										
タイプ Ⅲ、Ⅳ	リップ・取付溶接部	Br	0101			-	-	-	-										
			0102			-	-	-	-										
			0103			-	-	-	-										
			0104			-	-	-	-										
	柱・ベースプレート 溶接部	Bp	0201			-	-	-	-										
			0202			-	-	-	-										
			0203			-	-	-	-										
			0204			-	-	-	-										
タイプⅣ	ベースプレート 取付部	Bb	0101																
			0102																
			0103																
			0104																
			0201																
			0202																
			0203																
			0204																
タイプⅢ	アンカーボルト・ ナット	Ab	0101																
			0102																
			0103																
			0104																
			0201																
			0202																
			0203																
			0204																



標識（複柱式） 2/2

(6)目視点検結果																
支柱基部	タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb		01											
					02											
	タイプⅡ、Ⅲ	基礎コンクリート部	Bc		01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
					02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	タイプⅠ	路面境界部	GL-0		01											
					02											
		路面境界部	GL-40		01											
					02											
(7)次回点検の実施時期																

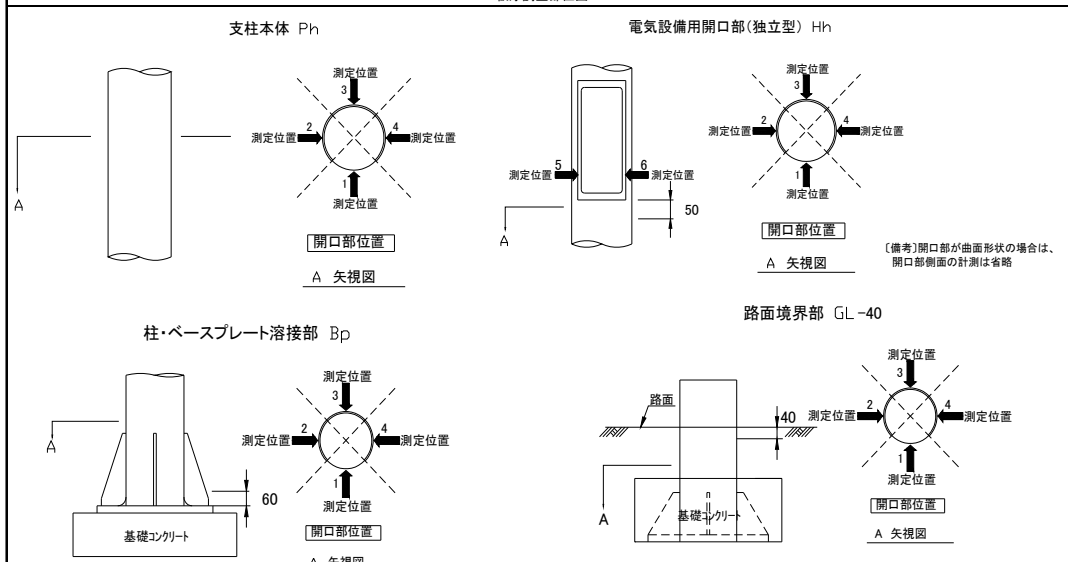
標識（添架型）

(1)基本情報																				
附属物名	道路標識			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所															
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市															
設置年月				距離標																
整理番号1				管理番号																
(2)構造情報																				
支柱形式	添架式			基礎形式																
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他															
表面処理形式				支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無															
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し															
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し															
(3)環境情報																				
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km															
(4)路線情報																				
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない															
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																			
交通条件	センサス年度				24時間交通量		台													
	センサス区間番号				大型車混入率		%													
(5)点検種別、点検年月日、点検員、点検確認者、点検手段																				
点検種別				点検年月日																
点検員	会社名			氏名																
点検確認者				点検手段																
(6)目視点検結果																				
点検部位	記号	材質	ID	損傷内容及び措置												対策の 要否	備考			
				き裂	ゆるみ・ 脱落	破断	腐食	変形・欠損	滞水	その他	損傷	措置	損傷	措置	損傷			措置	損傷	措置
				損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置			損傷	措置	損傷
	標識板及び標識板取 付部	Rs	-																	
(7)次回点検の実施時期																				

< 板厚調査結果記録表 >

(7) 板厚調査結果									
調査部位	記号	材質	測定位置	番号	測定厚		管理板厚 $t_c$ (mm)	限界板厚 $t_l$ (mm)	損傷度判定
					1回目	2回目			
支柱本体	Ph		0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
共通 電気設備用 開口部	開口部	Hh	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
	開口部(箱) の下部側面	左	5						
		右	6						
タイプⅢ、Ⅳ	柱・ベースプレート溶接部	Bp	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
支柱基部 タイプⅡ	柱・基礎境界部	Pb	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					
タイプⅠ	路面境界部	GL-40	0°	1					
			90°	2					
			180°	3					
			270°	4					

板厚調査部位図



< I D 番号図 >

整理番号1	管理番号

## 1. 2 点検記録表の記入方法

### (1) 基本情報

対象附属物の基本情報として、以下の項目を記入する。

附属物名 : 点検の対象となった附属物の種別を記入する。種別は次のとおりである。  
「道路照明施設」、「道路標識」、「道路情報提供装置」、「道路情報収集装置」

管理者 : 当該附属物の管理者を記入する。  
例) ○○地方整備局△△国道事務所□□出張所

路線 : 当該附属物が設置されている路線名を記入する。

所在地 : 当該附属物の所在地を記入する。

設置年月 : 当該附属物の設置年月を西暦で記入する。不明の場合は、「不明」と入力する。

距離標 : 該当する区間の距離標及び距離標からの距離を記入する。小数点以下2位まで。

整理番号 1 : 当該附属物の整理番号を記入する。  
整理番号は、先頭から都道府県番号(2桁)、道路種別(1桁)、路線番号(4桁)、現道と新道等の区分(1桁)、距離標(6桁)、起点から見た左右(1桁)、附属物名(1桁)の計16桁とする。なお、近接して同一の附属物がある場合であっても、同一番号を用いてはならない(距離標の値を調整して位置を特定できるように設定する。)

#### ① 都道府県番号(2桁)

都道府県番号については、表-1. 1に示す番号を使用する。

表-1. 1 都道府県コード表

01 北海道	09 栃木県	17 石川県	25 滋賀県	33 岡山県	41 佐賀県
02 青森県	10 群馬県	18 福井県	26 京都府	34 広島県	42 長崎県
03 岩手県	11 埼玉県	19 山梨県	27 大阪府	35 山口県	43 熊本県
04 宮城県	12 千葉県	20 長野県	28 兵庫県	36 徳島県	44 大分県
05 秋田県	13 東京都	21 岐阜県	29 奈良県	37 香川県	45 宮崎県
06 山形県	14 神奈川県	22 静岡県	30 和歌山県	38 愛媛県	46 鹿児島県
07 福島県	15 新潟県	23 愛知県	31 鳥取県	39 高知県	47 沖縄県
08 茨城県	16 富山県	24 三重県	32 島根県	40 福岡県	

② 道路種別（1桁）

- 1：高速自動車国道
- 2：一般国道（指定区間）

③ 国道の路線番号（4桁）

対象の路線番号を右詰め(例：国道 1 号→0001)とする。なお、高速自動車国道については、表-1. 2に示すコードを使用する。

表-1. 2 高速自動車国道コード表（新直轄区間）

コード	路線名	道路名	区間
0101	北海道縦貫自動車道 (函館名寄線)	道央自動車道	士別釧淵～名寄間
0102			七飯～大沼間
0201	北海道横断自動車道 (黒松内端野線)	道東自動車道	足寄～北見間
0202			本別～釧路間
0401	東北横断自動車道 (釜石秋田線)	釜石自動車道	遠野～宮守間
0402			宮守～東和間
0501	日本海沿岸東北自動車道	日本海東北自動車道	温海町～鶴岡 JCT 間
0502			本庄～岩城間
0504			荒川～朝日間
0503		秋田自動車道	大館～小坂 JCT 町
0601	東北中央自動車道 (相馬尾花沢線)	東北中央自動車道	福島 JCT～米沢間
0602			米沢～米沢北間
0603			東根～尾花沢間
1601	中部横断自動車道	中部横断自動車道	八千穂～佐久南間
1602			佐久南～佐久 JCT 間
1603			富沢～六郷間
1801	近畿自動車道 (松原那智勝浦線)	阪和自動車道	白浜～すさみ間
1803			田辺～白浜間
1802	近畿自動車道 (尾鷲多気線)		尾鷲北～紀伊長島間
2201	中国横断自動車道 (姫路鳥取線)	鳥取自動車道	佐用 JCT～大原
2202			智頭～鳥取間
2203	中国横断自動車道 (岡山米子線)	米子自動車道	米子～米子北間
2204	中国横断自動車道 (尾道松江線)	尾道自動車道	尾道 JCT～三次 JCT 間
2205		松江自動車道	三次 JCT～三刀屋木次間

2501	四国横断自動車道 (阿南中村線)		阿南～小松島間
2502			須崎新庄～窪川間
2504			小松島～徳島東間
2503	四国横断自動車道 (内海大洲線)		宇和島北～西予宇和 間
2801	九州横断自動車道 (延岡線)		嘉島 JCT～矢部間
2901	東九州自動車道	東九州自動車道	蒲江～北川間
2902			清武 JCT～北郷間
2903			北郷～日南間
2904			志布志～末吉財部間
2905			佐伯～蒲江間

出典) 平成 22 年道路施設現況調査要項(道路局企画課) 高速自動車国道コード表

④ 現道と新道等の区分 (1桁)

- 1 : 現道 (旧道・新道以外の道路。上下別線の場合は, 上り線)
- 2 : 旧道 (バイパス部分が現道に連結した全線供用開始後に, 元の道路を指定区間として管理している場合)
- 3 : 新道 (バイパス部分が現道に連結されないで部分的に供用されている区間。上下別線の場合は, 上り線)
- 4 : 別線 (上下別線の場合の下り線。なお, 現道, 新道の別は問わない。)
- 5～9 (各管理者にて設定) : ランプ・側道等

⑤ 距離標 (6桁)

1 m単位で表示した距離標を基本とし, 位置を特定できる場合は10 m単位で丸めて下1桁は0としても構わない。なお, 数m間隔で連続して設置されているトンネル壁面照明等は, 1 m単位とすることが望ましい。

また, ランプや側道も本線の距離標を基本とするものの, 独自に距離標を設定しているなど, 位置をより特定できればその値を用いても構わない。設定にあたっては, 同一の値にならないようにする。

例 1) 123.45km の附属施設→123450

例 2) 123.45km ■■IC の C ランプ 0.510km の附属施設→123513  
(本線距離標 123km, ランプ距離標 0.51km→51, C ランプ:3)

例 3) 122.22km ●●IC の A ランプ 10 番目の附属施設→122101  
(本線距離標 122km, A ランプで 10 番目→10, A ランプ:1)

⑥ 路線の起点から見た左右 (1桁)

- L : 左側
- C : 中央帯
- R : 右側

⑦ 附属物名（1桁）

- 1：道路標識
- 2：道路照明施設
- 3：道路情報提供装置
- 4：道路情報収集装置

なお、歩道橋や電柱、交通信号機の柱等の道路附属施設以外のものに道路附属施設を共架して設置している場合、当該道路附属物部分の区分とする。また、道路附属物の道路標識等に道路情報収集装置等の他の道路附属物を共架している場合には、主要な柱等の構造を有する道路附属物と、添架して設置している道路附属物に分けて区分する。

例1) ○○県，国道9号，現道222.33km下り線の左側，道路標識

→■■200091222330L1

例2) ○○県，国道100号，新道333.444km下り線用トンネル内（別線），  
右側壁面のトンネル照明

→■■201004333444R2

管理番号 : MICHI 等，他の既存システムで用いられている当該附属物の管理番号を記入する。付番されていない場合は，空欄でよい。

## (2) 構造情報

対象附属物の構造情報として、以下の項目を記入する。

支柱形式 : 当該附属物の支柱形式を次の中から選定して記入する。  
道路照明⇒逆L型, Y型, 直線型, 共架型, デザイン柱, 多目的柱, その他  
道路標識⇒単柱式, 複柱式, 逆L型, F型, テーパーポール型, T型, オーバーヘッド型, その他  
道路情報版⇒道路標識と同様  
※道路照明の場合, 記入欄右側に照明ポール型式(8-8Y, 8-8YB・・・等)を記入する。

基礎形式 : 当該附属物の基礎形式を次の中から選定して記入する。  
「埋込型」, 「ベースプレート型」, 「添架型」, 「その他」

灯具形式 : 道路照明については, 灯具の形式を次の中から選定して記入する。  
「KSC-4」, 「KSC-7」, 「KSN-2」, 「KSN-3」, 「KSN-2-H」, 「KSN-3-H」, 「KC4」  
「その他」

路面境界部の状況 : 当該附属物の路面境界部の状況を次の中から選定して記入する。  
「コンクリート」, 「AS」(アスファルト), 「土砂」, 「露出」, 「インターロッキング」, 「その他」  
※「露出」とは, ベースプレートが路面に露出している場合をいう。

表面処理形式 : 当該附属物の支柱の表面処理形式を次の中から選定して記入する。  
「塗装式」, 「亜鉛めっき式」, 「塗装式+亜鉛めっき式」, 「その他」  
※亜鉛めっき式の支柱に塗装が施されている場合は, 「塗装式+亜鉛めっき式」とする。

支柱基部リブ形状 : 当該路附属物の支柱基部のリブ形状を次の中から選定して記入する。  
「三角リブ」, 「U字リブ」, 「その他」, 「無」

ゆるみ止め対策 : ゆるみ止め対策の実施状況を次の中から選択して記入する。  
「有」, 「今回実施」, 「無」, 「当該無し」

合いマーク : 合いマークの実施状況を次の中から選択して記入する。  
「有」, 「今回実施」, 「無」, 「当該無し」

制振装置の有無 : 当該附属物の制振装置の実施状況を次の中から選択して記入する。  
「有」, 「今回実施」, 「無」, 「当該無し」

柱基部の排水性向上対策 : 当該附属物の柱基部に排水性向上対策(排水勾配を設けた根巻きコンクリート施工等)が実施されているか否かを, 次の中から選択して記入する。  
「有」, 「今回実施」, 「無」, 「当該無し」



### (3) 環境情報

対象附属物の環境情報として、以下の項目を記入する。

- 設置箇所 : 当該附属物の設置箇所を次の項目から選定して入力する。  
「一般部」、「橋梁部」、「トンネル」、「横断歩道橋」、「その他」
- 海岸からの距離 : 当該附属物の設置箇所から最も近い海岸までの距離を入力する。単位はキロメートルで入力する。明らかに塩害等の影響がない地域については「対象外」と入力する。

### (4) 路線情報

対象附属物の路線情報として、以下の項目を記入する。

- 融雪剤の散布 : 当該附属物の設置路線における融雪剤散布の有無を入力する。散布がある場合は「該当する」、ない場合は「該当しない」を選択する。
- 風規制実施路線 : 風や吹雪等による通行止め規制が規定されている区間であるかどうかを入力する。規定されている場合は「該当する」、規定されていない場合は「該当しない」を選択する。
- 防雪対策実施路線 : 防雪対策（吹だめ柵、吹払い柵、防雪林、スノーシェルター等）が設置されている区間であるかどうかを入力する。設置されている場合は「該当する」、設置されていない場合は「該当しない」を選択する。
- 交通条件 : 当該附属物が設置してある路線の24時間交通量及び大型車混入率を、直近の道路交通センサスから、センサス年度、センサス区間番号とともに、入力する。

(5) 点検種別, 点検年月日, 点検員, 点検確認者, 点検手段

- 点検種別 : 点検種別を次の中から選定して記入する。  
「初期点検」, 「定期点検 (中間点検)」, 「定期点検 (詳細点検)」
- 点検年月日 : 点検を実施した日付を西暦で記入する。
- 点検員 : 点検員の会社名と氏名を記入する。
- 点検確認者 : 点検結果を確認した管理者=職員 (やむを得ない場合のみ, 現場技術員) の役職, 氏名を記入する。損傷度判定区分「Ⅲ」については, 原則, 現地確認を行うこと。
- 点検手段 : 点検手段を次の項目から選定して記入する。  
「近接目視」←定期点検 (詳細点検) の標準である。  
「外観目視 (下部: 近接, 上部: カメラ)」←ボルト部に合いマークが施されている場合の, 初期点検, 定期点検 (中間点検) の標準である。  
「外観目視 (下部: 近接, 上部: 合いマーク)」←ボルト部を除く予め特定した弱点部が上部に無く, かつ, ボルト部が全て下から視認できる場合に限られる。  
「外観目視 (下部: 近接, 上部: 遠望)」←予め特定した弱点部が上部に無い場合に限られる。  
「その他 (詳細を記載)」  
※カメラとは, 伸縮支柱付きカメラ又は同等手段をいう。  
また, その他機器類を併用して点検を行った場合, その旨を記入する (例 板厚調査: 超音波厚さ計, 支柱内部: ファイバースコープ等)。

(6) 目視点検結果

- 点検部位 : 当該附属物の点検部位を記入する。なお, 提示している標準形式以外の形式の附属物を点検する場合は, 標準形式の附属物の点検結果記録表や本資料を参考に別途作成すること。  
また, 提示している標準形式の附属物の点検部位のうち, 実際に存在していない点検部位 (例えば, 配線部分, 支柱継手部等) があつた場合には, その点検部位の「損傷内容及び措置」欄に「-」を記入しておくこと。一方, 提示している点検部位以外の点検部位があつた場合には, 適宜追加を行うこと。
- 記号 : 表-1. 3を参考に点検部位ごとに記号を付与する。

表－ 1. 3 点検部位の記号

点検部位		記号
柱脚部	リブ取付溶接部	Br
	柱・ベースプレート溶接部	Bp
	ベースプレート取付部	Bb
	アンカーボルト・ナット	Ab
	柱・基礎境界部(支柱と基礎コンクリートの境界)	Pb
	基礎コンクリート部	Bc
	路面境界部 (G L - 0mm)	GL-0
	路面境界部 (G L - 40mm)	GL-40
開口部	電気設備用開口部本体	Hh
	電気設備用開口部ボルト	Hb
	支柱内部	Pi
支柱上部	横梁仕口溶接部	Bw
	横梁取付部	Bi
	現場溶接部	Fw
	横梁トラス溶接部	Tw
	横梁分岐部	Bj
	支柱本体	Ph
	支柱継手部	Pj
	横梁本体	Bh
	横梁トラス本体	Th
取付部	標識板及び標識板取付部	Rs
	灯具及び灯具取付部	Li
ブラケット取付部	ブラケット取付部(ブラケットの橋梁本体への取付部)	Bri
	ブラケット本体	Brh
その他	バンド部(共架型)	Bn
	配線部分	Wi

材質 : 当該点検部位の材質記号を、次の中から選定して記入する。  
 鋼材⇒St, アルミニウム⇒Al, ステンレス⇒Su, コンクリート⇒Co,  
 その他⇒X

ID : 点検部位が複数の部材に分かれる場合は、ID 番号を付与する。  
 例)

- ・ 支柱本体に関わるリブ、ボルト（リブ・取付溶接部、アンカーボルト・ナット、横梁仕口溶接部、横梁取付部、ベースプレート取付部、電気設備用開口部ボルト部）については、リブ枚数、ボルト本数に応じて ID を付与する。
- ・ 灯具や標識板が 2 つ以上設置されている場合は、その個数に応じて ID を付与する。
- ・ 支柱本体、横梁本体、横梁仕口溶接部、横梁取付部等、部位が複数存在する場合は、部材数に応じて ID を付与する。  
 ※ 1. 詳細については、付録－7「附属物標準形式と点検単位」の事例を参照のこと。  
 ※ 2. 提示している標準形式の ID 番号と実際の部材数に相違があった場合には、適宜、修正を行うこと。この際、< ID 番号図 >を作成すること。

損傷内容及び措置 : 各点検部位の該当箇所に生じていた損傷内容に対応する判定結果を記入する。

なお、損傷が認められなかった場合には、「I」を記入する（空白のままとはしない。）。

本点検業務に併せて対策を実施した場合は、「措置」欄に表-1.4 の措置番号を記入する。なお、対策を実施しなかった場合は、「O」である。

表－ 1. 4 措置番号表

再塗装	1
開口部蓋の交換	2
標識の交換	3
増し締め	4
支柱内部排水処理	5
ボルト、ナットの交換	6
合いマークの記入（再記入を含む。）	7
ゆるみ止め機能付きナットへの取替	8
灯具の交換	9
制震装置の設置	1 0
支柱基部排水性向上対策	1 1
撤去	1 2
その他	1 3
特に無し・現状維持	O
緊急措置が必要なもの	E

対策の要否 : 対策の要否を、「要」、「否」又は「済」で記入する。記入の単位は、点検部位ごととする（複数の損傷がある場合は、最も深刻なもので判断する。）。  
なお、本点検業務に併せて対策を実施した場合は、「済」とする。

備考 : 損傷内容だけでは表現できない特記事項や、その他の損傷内容等を記入する。

#### （7）次回点検の実施時期

次回点検の実施時期：次の中から選定して記入する。

「概ね5年後に中間点検」

「概ね5年後に詳細点検」

「1年後に再度初期点検」

「その他（詳細を記載）」

#### 1. 3 板厚調査結果記録表の記入方法

板厚調査結果 : 板厚調査結果を記入する。記号、材質等については、前述した記入方法に準拠すること。

#### 1. 4 ID番号図の記入方法

ID番号図 : リブ本数やアンカーボルト数が異なる場合、デザイン式の支柱が採用されている場合等、標準形式に該当しないため、独自のIDを付した場合に作成する。

なお、独自のIDでは、最初の数字を「9」とする。

例) リブ・取付溶接部 : 91, 92, … (注 : 標準形式では, 01, 02, …)

横梁仕口溶接部 : 9101, 9102, … (注 : 標準形式では, 0101, 0102, …)

2. 損傷写真台帳

撮影年月日 (      年      月      日)

	写真(ビデオ)番号 :
	調 査 部 位 :
	整 理 番 号 1 :
	管 理 番 号 :
	備考
	写真(ビデオ)番号 :
	調 査 部 位 :
	整 理 番 号 1 :
	管 理 番 号 :
	備考
	写真(ビデオ)番号 :
	調 査 部 位 :
	整 理 番 号 1 :
	管 理 番 号 :
	備考

### 3. 点検業務総合評価表

附属物の点検は、個別に行われるのではなく、連続的に設置された多数の附属物を対象に、一括して行われることが予想される。

したがって、附属物の点検結果については、点検記録表だけでなく、損傷の有無や補修・補強工事への申し送り事項、また次回点検への申し送り事項をまとめた、点検業務総合評価表も作成する。

#### <点検業務総合評価表>

(1)業務情報					
業務委託名					
地整名	地方整備局	事務所	出張所		
受注者					
(2)調査概要					
	道路照明装置	道路標識	道路情報提供装置	道路情報収集装置	計
初期点検	基	基	基	基	基
定期点検(中間点検)	基	基	基	基	基
定期点検(詳細点検)	基	基	基	基	基
異常時点検	基	基	基	基	基
特定の点検計画に基づく点検	基	基	基	基	基
合計	基	基	基	基	基
(3)環境情報					
緊急を有する損傷の有無、基数、損傷状況等					
計画的な補修・補強が必要と考えられる損傷の有無、基数、損傷状況等					
補修・補強工事への申し送り事項					
次回点検への申し送り事項					

4. 措置・対策記録表

点検の結果を受けて、別途の補修工事等において措置・対策を実施した場合には、措置・対策記録表を作成する。なお、点検業務に併せて実施した場合は、点検記録表に記載すれば足りる。

措置・対策記録表の作成にあたっては、措置・対策を実施した附属物の点検結果と対応させるものとし、各部位の各損傷に対して実施した措置内容を、表-1.2の措置番号表から選定し、入力する。

<措置・対策記録表>

(1)基本情報																	
附属物名	道路照明施設			管理者	〇〇地方整備局△△国道事務所□□出張所												
路線名	R〇〇			所在地	〇〇市												
設置年月				距離標													
整理番号1				管理番号													
(2)構造情報																	
支柱形式	逆L型			基礎形式													
灯具形式				路面境界部の状況	コンクリート・AS・土砂・露出・インターロッキング・その他												
表面処理形式				支柱基部リブ形状	三角リブ・U字リブ・その他・無												
ゆるみ止め対策	有・今回実施・無・当該無し			合いマーク	有・今回実施・無・当該無し												
制振装置の有無	有・今回実施・無・当該不要			柱基部の排水性向上対策	有・今回実施・無・当該無し												
(3)環境情報																	
設置箇所	一般部・橋梁部・トンネル・横断歩道橋・その他			海岸からの距離	km												
(4)路線情報																	
融雪剤散布路線	該当する・該当しない			風規制実施路線	該当する・該当しない												
防雪対策実施路線	該当する・該当しない																
交通条件	センサス年度			24時間交通量					台								
	センサス区間番号			大型車混入率					%								
(5)措置・対策年月日、実施者																	
工事案件名				工期													
請負者	会社名			監理(主任)技術者氏名													
(6)点検結果と措置・対策結果																	
点検部位	記号	材質	損傷内容及び措置											備考			
			き裂		ゆるみ・脱落		破断		腐食		変形・欠損		滞水		その他		
			損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷	措置	損傷		措置	損傷	措置
共通	電気設備用 開口部本体	Hh															
	電気設備用 開口部ポルト部	Hb															
	支柱内部	Pi															
	支柱本体	Ph															
	支柱継手部	Pj															
	配線部分	Wi															
	灯具及び 灯具取付部	Li															
支柱基部	タイプⅢ、Ⅳ リブ・取付溶接部	Br															
	柱・ベースプレート 溶接部	Bp															
	タイプⅣ ベースプレート 取付部	Bb															
	タイプⅢ アンカーボルト・ ナット	Ab															
	タイプⅡ 柱・基礎境界部	Pb															
	タイプⅡ、Ⅲ 基礎コンクリート部	Bc															
	タイプⅠ 路面境界部	GL-40															
(7)措置内容におけるコメント																	